

情報収集衛星に係る経費の令和7年度補正予算及び令和8年度政府予算案

令和8年2月
内閣官房

1 令和7年度補正予算の概要

328億円

- 我が国が直面する戦後最も厳しく複雑な外交・安全保障環境や、頻発化・激甚化する自然災害等への適切な対応を進めること等により国民の安全・安心を確保するため、10機体制が目指す情報収集能力の向上の早期達成に向けた情報収集衛星の開発・維持等を行い、政府の情報収集機能を強化する。緊急に対応すべきものとして、以下の施策を行う。
 - 情報収集衛星に必要な設計、材料等の調達、製作等を可能な限り早期に実施することで、開発工程における重要な技術・品質の課題等を早期に把握・解決する。
 - 打上げ用ロケットの組立・試験工程の前倒しを実施し、ロケットの組立・試験工程の時間を十分に確保することで、ロケット製造体制を強化し、確実な情報収集衛星の打上げにつなげる。

2 令和8年度政府予算案の概要

622億円

- 今年度に引き続き、ユーザー・ニーズを踏まえつつ、10機体制が目指す情報収集能力の向上を早期に達成することを目標とし、情報収集衛星の機能の拡充・強化を図る。
 - 光学・レーダ衛星各4機及びデータ中継衛星を加えた機数増により、10機体制が目指す情報収集能力の向上を早期に達成するため、着実に衛星開発を進める。
 - 即時性の向上やデータ量の増加に対応した地上システムの開発を進める。
 - 引き続き、情報収集衛星システムの機能・性能の向上を図るため、重要技術の先行研究開発を進める。

情報収集衛星に係る経費の令和7年度補正予算及び令和8年度政府予算案

3 令和7年度補正予算及び令和8年度政府予算案の内訳

(単位:億円)

| 経費区分 | 令和7年度当初予算額 (A) | 令和7年度補正予算 | 令和8年度政府予算案 (B) | 対前年度比較増減 (B)-(A) |
|--------------------|-------------------|-----------|-------------------|---------------------|
| (1) 情報収集衛星の運用等 | 374 | - | 356 | ▲18 |
| (2) 光学9号機の開発 | 62 | 59 | 44 | ▲18 |
| (3) 光学10号機の開発 | 17 | 82 | 21 | 4 |
| (4) 光学11号機等の開発 | - | - | 1 | 1 |
| (5) レーダ7号機・8号機の開発 | 7 | - | - | ▲7 |
| (6) レーダ9号機・10号機の開発 | 39 | 65 | 46 | 6 |
| (7) 光学時間軸多様化衛星の開発 | 43 | 58 | 68 | 26 |
| (8) レーダ時間軸多様化衛星の開発 | 50 | 65 | 54 | 4 |
| (9) 衛星技術の調査研究等 | 30 | - | 32 | 1 |
| 合計 | 622 | 328 | 622 | ▲0 |

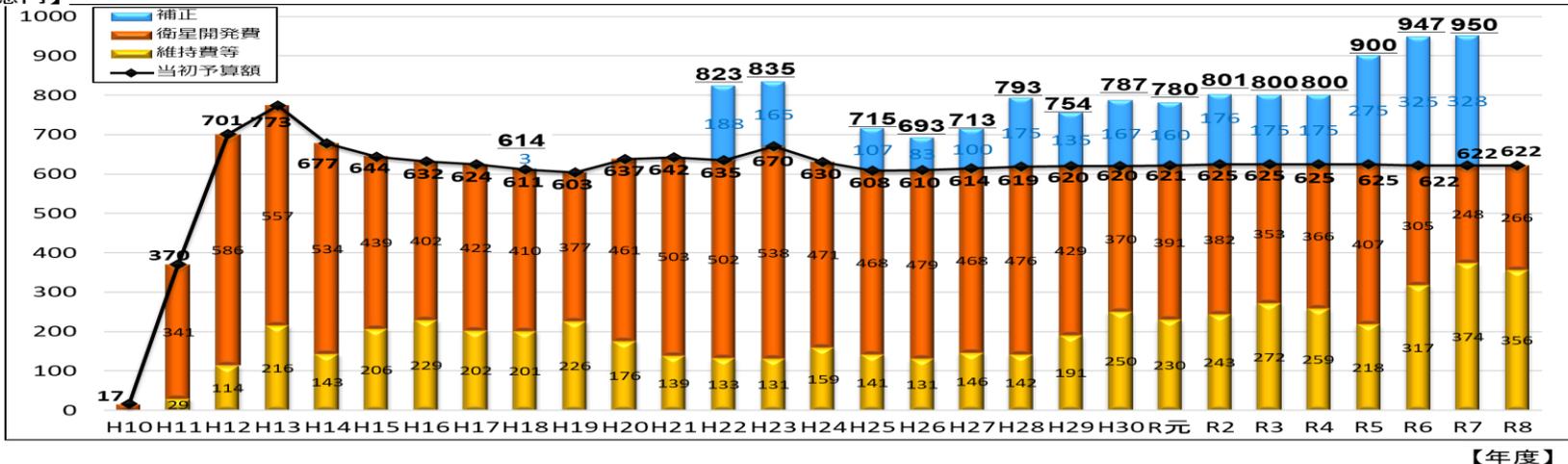
※1 四捨五入のため、必ずしも合計が一致するわけではない。

※3 令和8年度当初予算の数値は、政府予算案であり、今後変わりうる。

※2 光学9号機の開発には第八期地上システムの開発費を含む。

4 これまでの情報収集衛星予算の推移

【億円】



※1 四捨五入のため、必ずしも合計が一致するわけではない。

※2 令和8年度当初予算の数値は、政府予算案であり、今後変わりうる。

